



2023年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月11日

上場会社名 萩原工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7856 URL <https://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 和志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事業支援部門長 (氏名) 吉田 淳一

TEL 086-440-0860

四半期報告書提出予定日 2023年9月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	23,451	6.2	1,434	40.7	1,667	35.4	2,870	391.5
2022年10月期第3四半期	22,079	6.4	1,019	48.6	1,231	40.8	584	58.4

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 2,730百万円 (88.5%) 2022年10月期第3四半期 1,448百万円 (14.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	205.15	
2022年10月期第3四半期	40.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	41,850	28,195	67.2
2022年10月期	38,447	25,950	67.4

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 28,133百万円 2022年10月期 25,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		18.00		18.00	36.00
2023年10月期		25.00			
2023年10月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	3.5	1,800	30.7	2,000	18.9	3,100	228.7	221.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
除外 1社 (社名)青島萩原工業有限公司
(注)詳細は添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期3Q	14,897,600 株	2022年10月期	14,897,600 株
期末自己株式数	2023年10月期3Q	883,173 株	2022年10月期	926,213 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期3Q	13,994,651 株	2022年10月期3Q	14,434,757 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)	8
(当四半期連結会計期間における重要な子会社の異動)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、設備投資や個人消費の回復、株価の上昇及び円安効果を背景としたインバウンドを含む人流の回復等によって経済活動が活発化し、経営成績を伸長させた企業がある一方で、電力費の高止まりや物価上昇は依然として継続し、中国経済の回復遅れも重なり、経営成績を悪化させた企業も見られました。また、5類感染症に移行された新型コロナウイルス感染症感染者の再拡大の兆候もあり、景気回復への不安材料は払拭されない状況となりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、電力費の高止まり、調達部品の長納期化及びサプライチェーンの混乱が継続している中、製品価格の値上げ、生産体制の再編による需要の高い製品の増産対策や、パラグアイに新設したコンクリート補強繊維「バルチップ」の新工場の稼働開始に注力し、事業活動を継続してまいりました。また、2023年6月19日、中国に所在した子会社「青島萩原工業有限公司」の清算が終了しました。

その結果、売上高234億51百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益14億34百万円（前年同四半期比40.7%増）、経常利益16億67百万円（前年同四半期比35.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は連結子会社の青島萩原工業有限公司が土地収用に伴い受領した収用補償金及び同社の清算に伴う子会社清算益を特別利益に計上し28億70百万円（前年同四半期比391.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、産業資材、農業資材用途は依然として厳しい状況が続いており、シートや一般原糸の販売が伸び悩んだものの、バルチップ、包装資材用途のメルタック、人工芝関連製品及び粘着テープ原反は好調に推移し、増収増益となりました。

インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、バルチップの生産は需要増加の下で堅調に推移しましたが、主要製品であるフレキシブルコンテナバッグの需要減少に伴う生産調整が続く減収減益、国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」におきましては、原材料価格の下落を背景とした製品市場での先安感が強くなったことで需要が後退し販売数量が減少しましたが、値上げ効果、経費削減及び生産効率の改善により増収増益となりました。

その結果、売上高200億15百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益13億7百万円（前年同四半期比54.8%増）となりました。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、軟包装材料の需要減少に伴い関連する設備投資の抑制傾向が続いた一方で、二次電池の市場は拡大が継続し、リチウムイオン電池用途のスリッターやリワインダー設備の販売が伸び増収となりました。押出関連機器は減収となったものの、環境対策として市場ニーズが高まっているバイオマスプラスチック用途の造粒装置を販売するなど、新たな需要の取り込みに注力しました。利益面では、部品納期の遅延が続き、開発性の高い製品の販売もあり減益となりました。

2023年3月に新たな市場を開拓する目的で技術譲渡を受けた金属箔用スリッターについては、第1号機を受注し、更なる拡大に注力しております。

その結果、売上高34億36百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益1億26百万円（前年同四半期比27.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は418億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億3百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は229億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億80百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が8億59百万円、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が4億91百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が8億48百万円減少したこと等によります。

固定資産は188億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億22百万円の増加となりました。これは主に建物及び構築物が45億57百万円増加したこと等によります。

負債の部では、流動負債は83億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億15百万円の減少となりました。これは主にその他流動負債が5億10百万円減少したこと等によります。

固定負債は53億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億73百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が増加したこと等によります。

純資産の部は281億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億45百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が増加したこと等によります。この結果、自己資本比率は67.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、製品値上げによる利益率の改善や高収益製品の販売拡大が当初予想以上に進捗し、また円安進行により為替差益が増加する見通しであること、さらに中国の連結子会社「青島萩原工業有限公司」の清算が想定より早期に結了し、当第3四半期連結会計期間に子会社清算益2億50百万円を計上したことから、通期の業績予想を修正いたしました。

2023年10月期 通期連結業績予想の修正 (2022年11月1日～2023年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 31,000	百万円 1,700	百万円 1,800	百万円 2,700	円 銭 193.25
今回修正予想 (B)	31,000	1,800	2,000	3,100	221.51
増減額 (B - A)	—	100	200	400	28.26
増減率 (%)	—	5.9%	11.1%	14.8%	14.6%
(ご参考) 前期実績 (2022年10月期)	29,953	1,377	1,681	943	65.86

上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,313,871	6,173,863
受取手形及び売掛金	8,574,088	7,725,350
商品及び製品	2,944,745	3,075,649
仕掛品	2,714,477	2,953,199
原材料及び貯蔵品	1,525,229	1,646,769
その他	1,138,849	1,421,376
貸倒引当金	△4,812	△9,550
流動資産合計	22,206,448	22,986,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,960,691	7,517,966
機械装置及び運搬具(純額)	3,170,040	3,029,506
工具、器具及び備品(純額)	349,597	372,202
土地	3,877,929	3,877,929
建設仮勘定	3,360,979	1,762,922
有形固定資産合計	13,719,239	16,560,527
無形固定資産		
のれん	46,966	114,583
その他	470,791	396,974
無形固定資産合計	517,757	511,557
投資その他の資産		
保険積立金	404,193	386,508
その他	1,599,438	1,404,833
投資その他の資産合計	2,003,632	1,791,342
固定資産合計	16,240,629	18,863,427
資産合計	38,447,078	41,850,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,541,268	1,690,035
電子記録債務	1,707,306	1,604,897
短期借入金	2,252,208	2,223,832
未払法人税等	209,909	348,804
賞与引当金	637,691	371,911
製品保証引当金	33,174	37,334
その他	2,569,154	2,058,501
流動負債合計	8,950,715	8,335,318
固定負債		
長期借入金	2,236,137	4,396,821
退職給付に係る負債	805,838	703,806
その他	503,616	218,218
固定負債合計	3,545,592	5,318,847
負債合計	12,496,307	13,654,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,473,324	1,490,082
利益剰余金	22,398,483	24,666,856
自己株式	△1,029,412	△965,002
株主資本合計	24,620,781	26,970,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,294	28,923
繰延ヘッジ損益	5,541	1,500
為替換算調整勘定	1,259,499	1,117,159
退職給付に係る調整累計額	38,288	15,620
その他の包括利益累計額合計	1,311,624	1,163,204
新株予約権	4,024	40,248
非支配株主持分	14,340	22,146
純資産合計	25,950,770	28,195,920
負債純資産合計	38,447,078	41,850,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
売上高	22,079,363	23,451,527
売上原価	16,405,382	17,316,631
売上総利益	5,673,981	6,134,895
販売費及び一般管理費	4,654,668	4,700,645
営業利益	1,019,312	1,434,250
営業外収益		
受取利息	8,350	28,578
受取配当金	2,132	3,691
受取保険金	37,338	41,807
為替差益	98,440	111,104
試作品等売却収入	53,453	24,472
その他	29,736	75,677
営業外収益合計	229,451	285,330
営業外費用		
支払利息	9,487	44,171
売上割引	—	160
その他	7,893	7,493
営業外費用合計	17,380	51,825
経常利益	1,231,382	1,667,755
特別利益		
収用補償金	—	2,022,422
子会社清算益	—	250,450
特別利益合計	—	2,272,872
特別損失		
事業撤退損	338,595	—
特別損失合計	338,595	—
税金等調整前四半期純利益	892,787	3,940,628
法人税等	304,783	1,063,944
四半期純利益	588,003	2,876,684
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,887	5,707
親会社株主に帰属する四半期純利益	584,116	2,870,976

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	588,003	2,876,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,502	20,628
繰延ヘッジ損益	△1,657	△4,040
為替換算調整勘定	896,927	△140,242
退職給付に係る調整額	△29,667	△22,667
その他の包括利益合計	860,098	△146,321
四半期包括利益	1,448,102	2,730,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,444,154	2,722,556
非支配株主に係る四半期包括利益	3,948	7,805

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(当四半期連結会計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期会計期間において、連結子会社であった青島萩原工業有限公司は清算手続きが終了したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は2023年9月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した資本政策の遂行及び株主の皆様への利益還元を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得する株式の種類

当社普通株式

(2) 取得する株式の総数

300,000株 (上限)

(3) 取得する期間

2023年9月12日から2023年11月30日

(4) 取得価額の総額

540百万円 (上限)

(5) 取得の方法

東京証券取引所における市場買付

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	13,544,560	2,567,819	16,112,380	—	16,112,380
アジア	2,135,069	336,452	2,471,521	—	2,471,521
北アメリカ	1,050,231	1,077	1,051,308	—	1,051,308
南アメリカ	1,283,921	—	1,283,921	—	1,283,921
オセアニア	720,223	—	720,223	—	720,223
ヨーロッパ	427,725	—	427,725	—	427,725
アフリカ	—	12,283	12,283	—	12,283
顧客との契約から生じる収益	19,161,731	2,917,632	22,079,363	—	22,079,363
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,161,731	2,917,632	22,079,363	—	22,079,363
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	36,650	36,650	△36,650	—
計	19,161,731	2,954,283	22,116,014	△36,650	22,079,363
セグメント利益	844,506	174,805	1,019,312	—	1,019,312

- (注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 2. 合成樹脂加工製品事業において、減損損失206,275千円を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	13,939,305	2,522,051	16,461,357	—	16,461,357
アジア	2,259,738	881,862	3,141,601	—	3,141,601
北アメリカ	1,481,335	29,998	1,511,334	—	1,511,334
南アメリカ	1,201,571	—	1,201,571	—	1,201,571
オセアニア	602,199	—	602,199	—	602,199
ヨーロッパ	518,252	1,802	520,054	—	520,054
アフリカ	13,031	376	13,408	—	13,408
顧客との契約から生じる収益	20,015,434	3,436,092	23,451,527	—	23,451,527
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,015,434	3,436,092	23,451,527	—	23,451,527
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	172,513	172,513	△172,513	—
計	20,015,434	3,608,605	23,624,040	△172,513	23,451,527
セグメント利益	1,307,466	126,783	1,434,250	—	1,434,250

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。